



ひとにやさしく がんばりすぎずに継続し 勇気をもって しっかり学ぶ 東っ子！414名

【今回の学校だよりは、電子媒体のみでの配信となります。子どもさん向けには担任の先生が教室に掲示して下さっております(ー)



第21代松原 潔校長先生が植樹されたエスポアール（希望）君の隣の彼岸桜が大震災の日を境に開花しました

15年前の大災害となった東日本大震災では関連死を含め2万2000人を超える犠牲者の方々に襲った大地震による大津波の被害の復興はまだまた成し遂げられていません。

本校でも安全教育主任の平野隆洋先生が、被災された当時の小学生だったお友達の体験作文を読ませていただきました。心を締め付けられる思いで聴きました。また、本日、全校児童は黒屋教頭先生の放送におきまして大地震発生した時刻14時46分に亡くなった2万2000人の方のご冥福を祈り、黙とうをささげさせていただきました。その後、各学級では特設の授業を組み、安全について、ペットを含め、自分自身や家族におきかえてかけがえのない命の大切さについて考えを深めました。

本校の校門坂を上りきった希望の像の隣に彼岸桜が植樹されてあります。昨日から今日にかけて東日本大震災慰霊の日を境に子ども達のこれからの安全と被災地の方々の復興と、亡くなられた方のご冥福を祈るかのように彼岸桜のつぼみが32輪も開花しましたことをご報告いたします。(朝登校するお友達を見守る、エスポアール君と共に咲き始めた彼岸桜の蕾さんたち。右上は朝の運動場の光景です。彼岸桜が仲間を見守っていますね。)(-)-☆ 安全教育主任の平野先生が、被災された児童の方の作文を読んでくださいました。(文芸春秋社出版発行 橋浦様の作品より)



彼岸桜の花言葉には「優雅な美しさ」「希望」「心の平安」

「独立」「精神美」があります。

花言葉の意味(デジタル大辞泉より)

優雅な美しさ:控えて上品な花姿から生まれた花言葉で、派手すぎず寂しすぎない華やかさが特徴です。風に揺れる花びらの様子は、見る人に穏やかさを感じさせます。

希望:冬の寒さを乗り越えて春のお彼岸に咲くことから、新たな命の自覚めや未来への希望を象徴しています。

心の平安:落ち着いた淡いピンク色の花や静かな佇まいから、心を落ち着かせる効果があるとされます。

独立・精神美:他の桜より早く咲くことから「周囲に流されず独自に咲く」姿を象徴し、孤高の美しさや精神的な美しさを表しています。

命のつながり・静けさ:学校や寺院や墓地など、人生の節目に寄り添う場所に多く植えられることから、故人や先祖とのつながりや静寂の中での生命の尊さを象徴しています。(ー)



～ 叶えたい 夢もあった 変わりたい 自分もいた 今はただ なつかしいあの人を 思い出す・・・。

～ 花は咲く いつか生まれる君に ～ 花は咲く ～わたしは何を残しただろう・・・。作詞:岩井俊二 作曲:菅野よう子 【花は咲く】



児童クラブの先生方が全校を巡回訪問されました。 まことにありがとうございます ☆



感想もいただいています。ありがとうございました。

中村先生・・・真剣に勉強に打ち込んでいて素晴らしいですね。

石本先生・・・頑張っている姿が見れてうれしかったです。

瀬戸先生・・・児童クラブとは違った姿を発見できてよかったです。かっこよかったですね。

石田先生・・・頑張るところが見れてとってもうれしかったです。

中村先生・・・2日間続けて真剣な姿をみることで感動しました。

小田先生・・・楽しそうでとても賑やかでした。頑張っている姿が見られてうれしかったです。

今井先生・・・上学年から参観いたしましたがお困りが大人な感じが6年生にはしました。下学年になるとタイムスリップして若返っていくような感じがしました。(それだけ大人な雰囲気なのでしょう。)クラスによってカラーが違うところが新鮮に思いました。

